



# 最近の県内経済情勢

令和 7 年 1 月 30 日

財務省関東財務局

長野財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

お問い合わせ先  
長野財務事務所財務課  
電話番号 026-234-5124

## 1. 総論

### 【総括判断】

## 「県内経済は、持ち直している」

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

（注）7年1月判断は、前回6年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

### （判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、足踏みの状況にある。

### 【各項目の判断】

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
雇用情勢	足踏みの状況にある	足踏みの状況にある	
設備投資	6年度は減少見込みとなっている	6年度は減少見込みとなっている	
企業収益	6年度は増益見込みとなっている	6年度は増益見込みとなっている	
企業の景況感	「上昇」超に転じている	「下降」超に転じている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	

### 【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

家電大型専門店販売額、乗用車の新車登録届出台数は前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、ホームセンター販売額は前年を上回っている。このほか、陸運、宿泊も緩やかに回復しつつあり、全体として個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 宣伝効果もあり、物産展の売上げは前年を上回った。また、年末年始は曜日並びが良かったことや前年の能登半島地震による消費マインド低下の反動もあり、客数が増加した。(百貨店・スーパー)
- 外国人観光客の増加に伴い、主に観光地の店舗においてサンドイッチや菓子類の売上げが伸長した。(コンビニエンスストア)
- 例年、夏に売上げがピークとなるエアコンについて、5年は10月以降も残暑が続き売上げが好調であったため、その分の落ち込みが大きい。また、テレビについても、以前ほど高価な商品の売行きが良くない等、物価高騰等による消費マインドの変化が感じられる。(家電量販店)
- 販促の強化等により客数が増加したため、化粧品や日用品を中心に売上げが増加した。また、外国人観光客の増加も売上げの増加に寄与した。(ドラッグストア)
- メーカーの需給環境が回復傾向にあるものの、10~12月期の販売台数は、前年割れとなった。(自動車販売)
- 県内の観光地を結ぶバス路線は好調に推移し、前年を上回る利用客数となった。(陸運)
- 特に、上高地を中心とする松本エリアにおいて、国内・海外、団体・個人ともに需要の高い状況が続き、売上げが好調となっている。(宿泊)

### ■ 生産活動 「持ち直しつつある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械、電気機械、輸送機械などは下降しているものの、電子部品・デバイス、食料品、情報通信機械などは上昇しており、生産活動は、持ち直しつつある。

- 7年の春頃に半導体の需要が回復するとみられており、先んじて半導体製造装置の需要が回復してきているため、同製造装置用の部品の受注量及び生産量が回復してきている。(電子部品・デバイス)
- 主に海外で国産自動車の売行きが芳しくなく、取引先で在庫を抱えているため、当社製品の受注量・生産量が減少している。(電気機械)
- 世界人口の増加等が寄与し、当社の主力製品を中心に生産が好調である。(情報通信機械)

### ■ 雇用情勢 「足踏みの状況にある」

有効求人倍率が低下し、新規求人数は前年を下回るなど、雇用情勢は、足踏みの状況にある。

- システム化、機械化、RPA活用により生産性向上を図っているほか、店舗統合やシフト制による休日取得促進、残業削減により働き方改革と生産性向上の両立を進めている。(小売業)
- 正社員採用については概ね充足してきており、7年度は経験者の採用を中心に進める予定である。(宿泊)
- 現状では十分に人手を確保できているとは言えず、受注を制限している状況であることから、今後も人の確保は必須である。(建設)

### ■ 設備投資 「6年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10~12月期

法人企業景気予測調査(6年10~12月期調査)で6年度の設備投資計画をみると、製造業は前年比▲34.8%の減少見込み、非製造業は同▲10.2%の減少見込み、全産業では同▲30.7%の減少見込みとなっている。

### ■ 企業収益 「6年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」6年10~12月期

法人企業景気予測調査(6年10~12月期調査)で6年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比17.3%の増益見込み、非製造業では同▲12.9%の減益見込み、全体では同11.8%の増益見込みとなっている。

### ■ 企業の景況感 「『下降』超に転じている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10~12月期

法人企業景気予測調査(6年10~12月期調査)の企業の景況判断BSIをみると、全規模・全産業で「下降」超に転じている。

先行きについては、7年4~6月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

### ■ 住宅建設 「前年を上回っている」

新設住宅着工戸数は、分譲住宅が前年を下回っているものの、持家、貸家が前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

# 最近の県内経済情勢

## 資料編

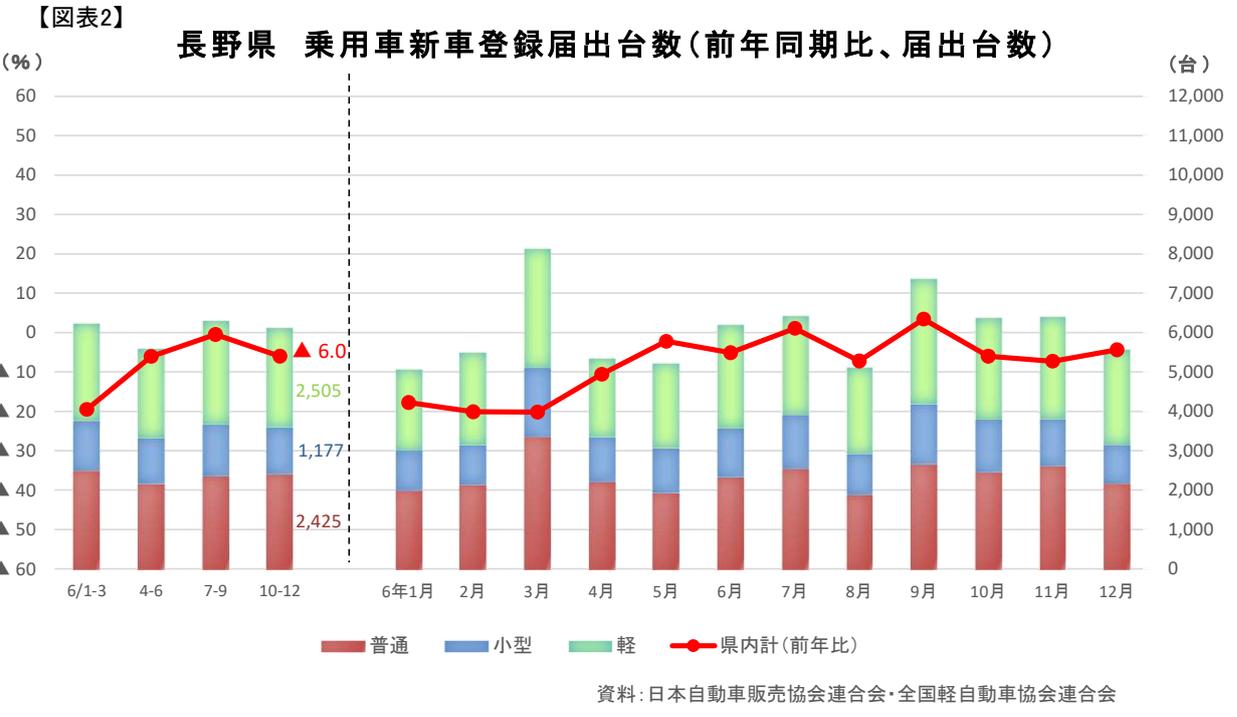
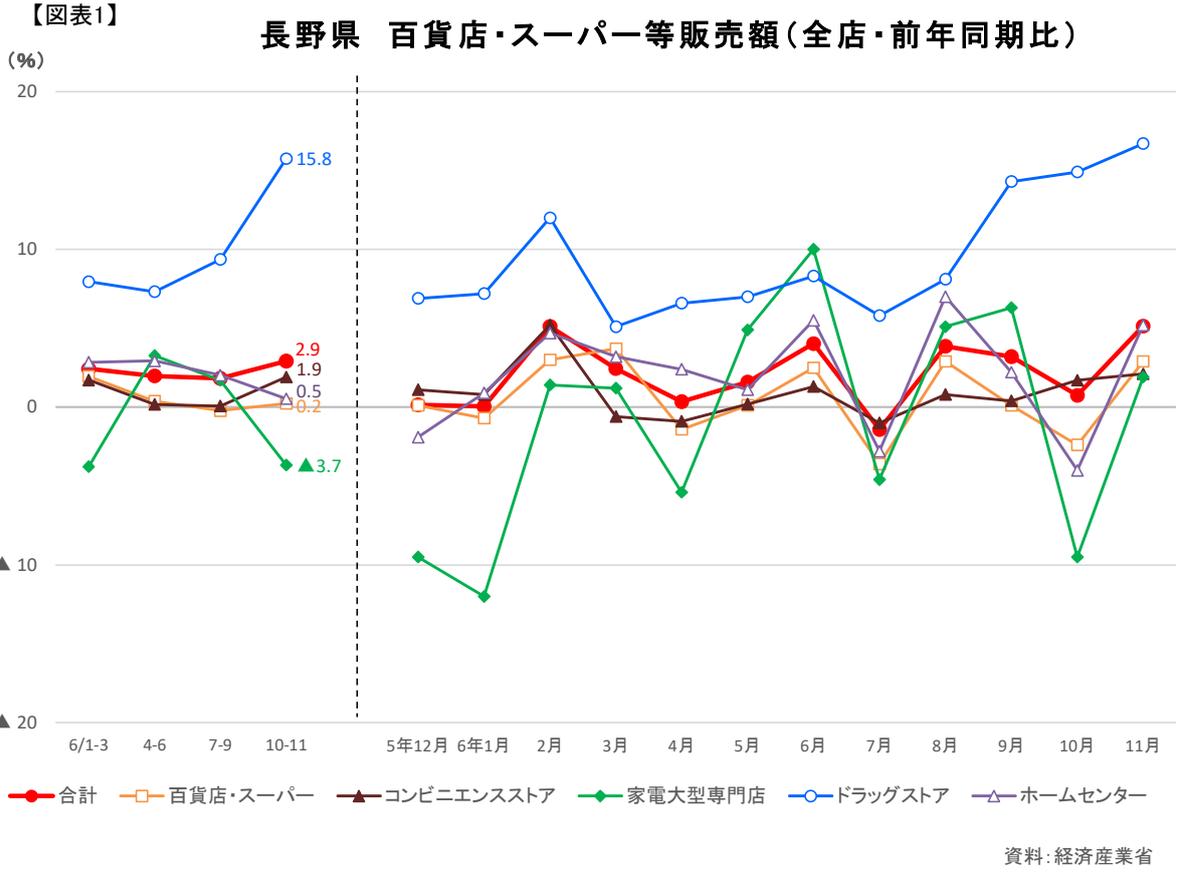
令和 7 年 1 月 30 日

財務省 関東財務局

長野財務事務所

# 1. 個人消費

緩やかに回復しつつある

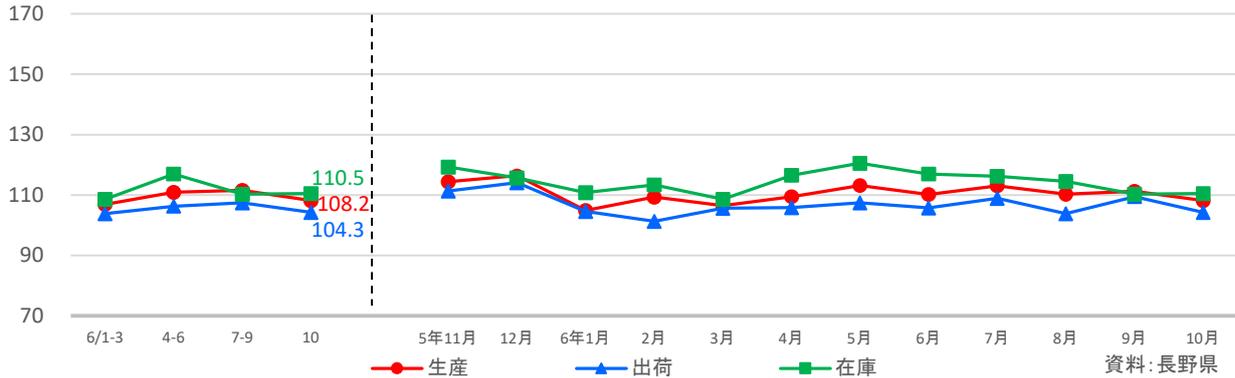


## 2. 生産活動

持ち直しつつある

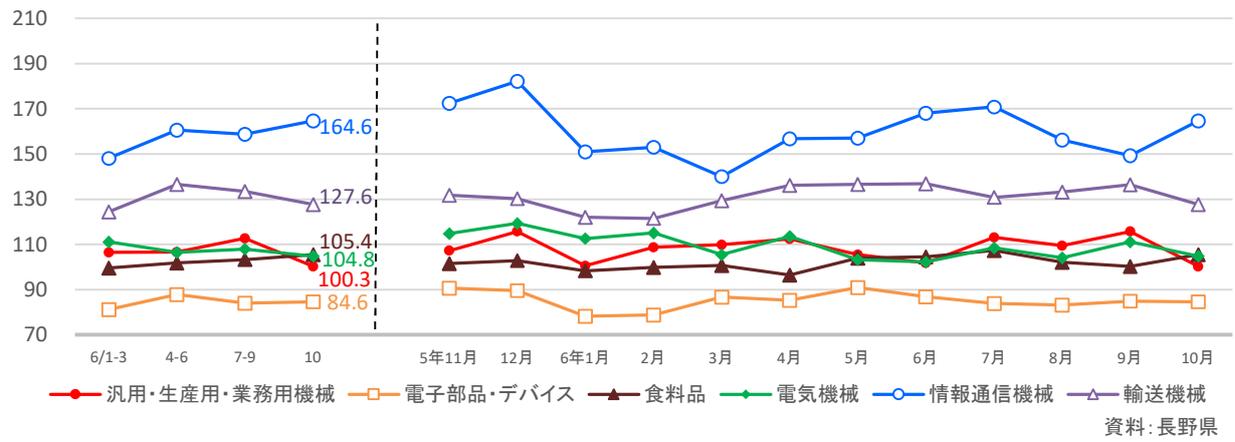
【図表3】

長野県 鉱工業指数(季節調整値・R2=100)



【図表4】

長野県 業種別鉱工業生産指数(季節調整値・R2=100)

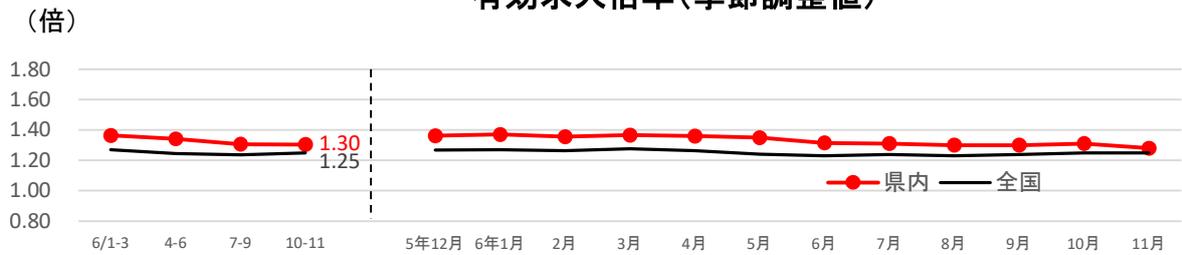


## 3. 雇用情勢

足踏みの状況にある

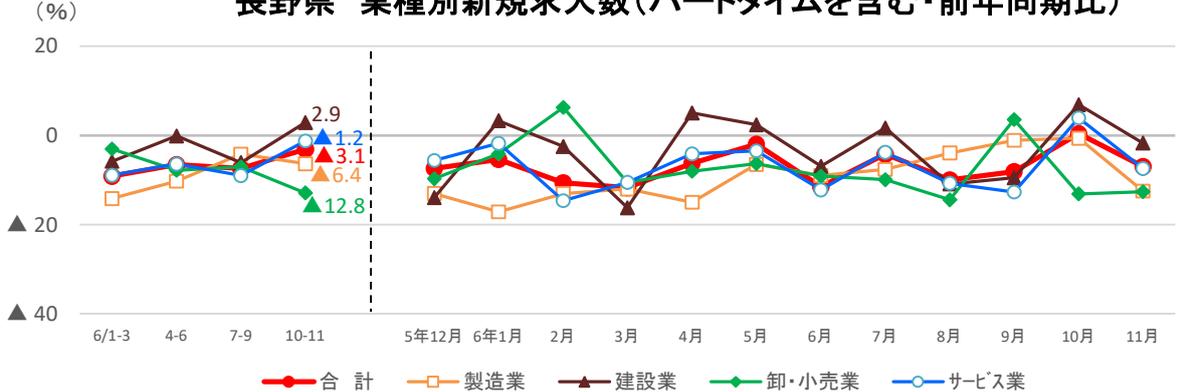
【図表5】

有効求人倍率(季節調整値)



【図表6】

長野県 業種別新規求人数(パートタイムを含む・前年同期比)



#### 4. 企業収益・設備投資

企業収益:6年度は増益見込みとなっている  
設備投資:6年度は減少見込みとなっている

【図表7】 企業収益・設備投資 (前年比増減率:%)

	売上高	経常利益		設備投資
		(受取配当金を除く)		
全規模・全産業	6.5 ( 7.2 )	11.8 ( 16.4 )	18.3 ( 25.7 )	▲ 30.7 ( ▲ 14.1 )
大企業	7.0 ( 8.2 )	10.1 ( 17.5 )	16.7 ( 25.7 )	▲ 30.1 ( ▲ 10.3 )
中堅企業	5.6 ( 4.4 )	27.4 ( 16.9 )	37.7 ( 36.8 )	▲ 40.8 ( ▲ 37.7 )
中小企業	1.8 ( 0.6 )	▲ 18.9 ( ▲ 13.5 )	▲ 19.4 ( ▲ 15.0 )	57.3 ( 35.8 )
製造業	8.8 ( 9.0 )	17.3 ( 22.7 )	27.1 ( 36.2 )	▲ 34.8 ( ▲ 13.8 )
非製造業	2.7 ( 3.8 )	▲ 12.9 ( ▲ 19.4 )	▲ 14.2 ( ▲ 23.8 )	▲ 10.2 ( ▲ 16.1 )

(注)1.( )書は前回(6年7~9月期)調査結果

2.売上高、経常利益は「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除いたもの

資料:長野財務事務所

「法人企業景気予測調査(令和6年10~12月期調査)」

#### 5. 企業の景況感

「下降」超に転じている

企業の景況判断 B S I  
(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

【図表8】 (単位:%ポイント)

	6年7~9月	6年10~12月	7年1~3月	7年4~6月
全規模・全産業	( 5.0 )	▲ 2.8 ( 5.7 )	▲ 13.2 ( ▲ 3.6 )	0.7
大企業	( 2.6 )	10.5 ( 10.3 )	0.0 ( 5.1 )	7.9
中堅企業	( ▲ 3.1 )	9.7 ( 18.8 )	▲ 16.1 ( 0.0 )	▲ 6.5
中小企業	( 10.1 )	▲ 14.7 ( ▲ 2.9 )	▲ 18.7 ( ▲ 10.1 )	0.0
製造業	( ▲ 1.5 )	▲ 1.5 ( 6.2 )	▲ 9.0 ( ▲ 3.1 )	3.0
非製造業	( 10.7 )	▲ 3.9 ( 5.3 )	▲ 16.9 ( ▲ 4.0 )	▲ 1.3

(注)( )書は前回(6年7~9月期)調査結果

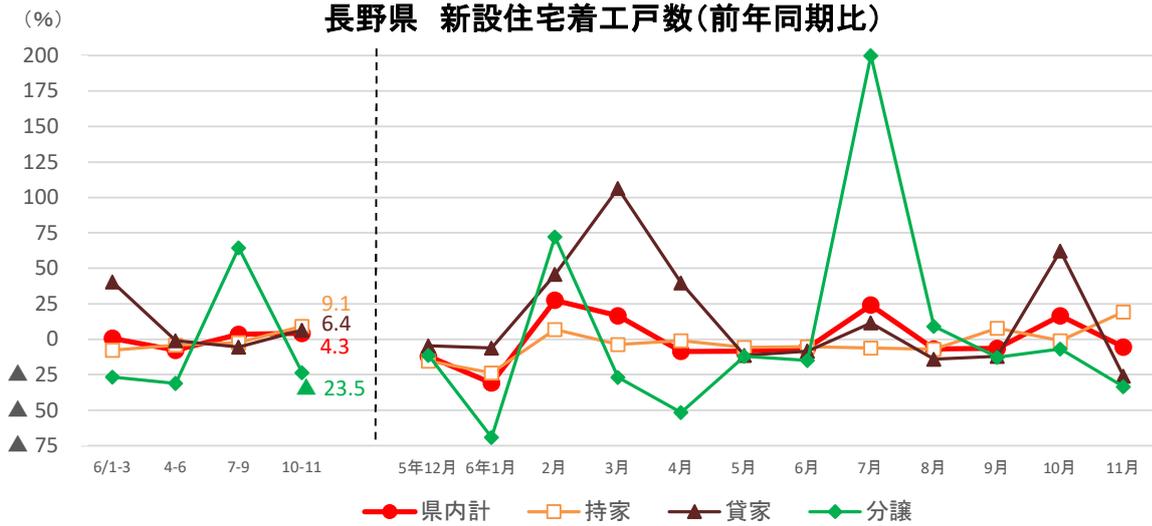
資料:長野財務事務所

「法人企業景気予測調査(令和6年10~12月期調査)」

## 6. 住宅建設

前年を上回っている

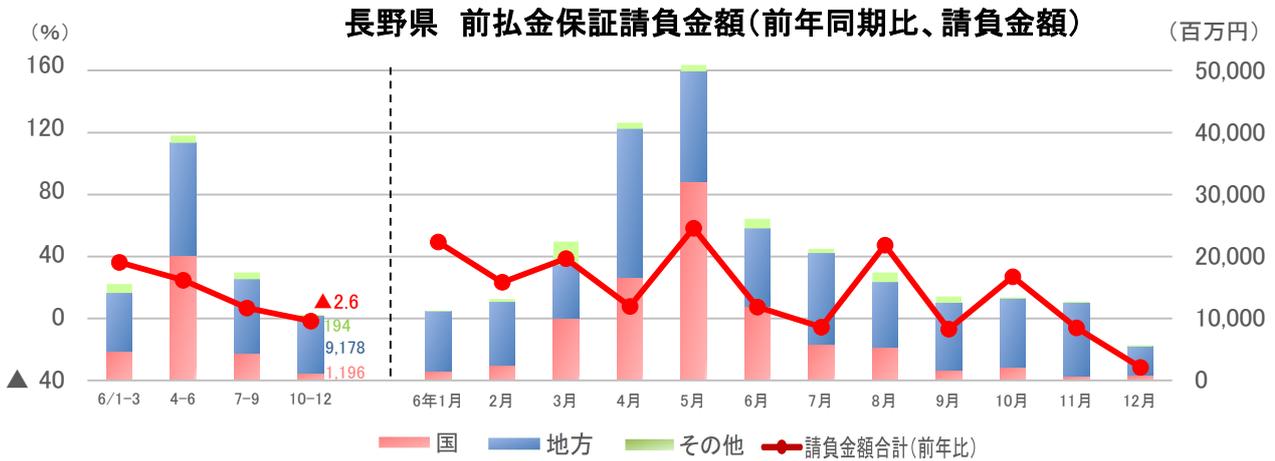
【図表9】



## (参考) 公共工事

前年を下回っている

【図表10】



## (参考) 倒産

前年を上回っている

【図表11】

